

文化芸術によるまちづくり座談会

第5回 座談会
2月16日(月)

町田市文化スポーツ
振興部文化振興課

〒194-8520
東京都町田市森野
2-2-22
TEL: 042-724-2184

座談会の総括

第5回座談会

文化芸術によるまちづくり座談 総括

2014年度、町田市は、文化芸術によるまちづくりについて、幅広い視野から意見を求めることを目的として、文化芸術によるまちづくり座談会（以下「座談会」という。）を立ち上げました。

2月16日に第5回座談会が開催され、過去4回の座談会の総括とこれからの町田市における文化芸術ホールについて関連な議論がかわされました。

2015年2月16日に、第5回文化芸術によるまちづくり座談会が市役所2階市民協働おうえんルームで開催されました。

当日は石阪市長、有金副市長、高橋副市長と学識者として市川宏雄氏、片山泰輔氏、美山良夫氏、文化芸術ホールの施設管理者として伊藤せい子氏、コンサート等の事業運営者として西茂弘氏の合わせて8名により開催されました。

第5回座談会では①第1回から第4回までの座談会の議論の振り返り、②文化芸術に

よるまちづくりのポイント、③基本構想の策定に向けてがテーマとして設定され、町田市における新たな文化芸術ホールのあり方について、意見交換が行われました。

●前半の主な議題「これまでの座談会の振り返り」

はじめに事務局より、第1回から第4回の座談会での議論、委員からの意見のまとめについて、資料をもとに説明がなされました。

4回にわたる座談会において、町田市の魅力的な地域の

文化資源、活発な市民活動、商業の集積、交通の要所となっている点といった強みがあることがあらためて確認されました。その中で、市民の活動をより活発にしていくなか、町田市に人を引き込むための戦略として文化芸術を使うのか、大きな方向性を今後検討していく必要があるという意見が示されました。

また、町田市の将来構想において、10年、20年後を見据えて、あるべき姿を検討していくことの重要性があらためて示されました。

これまでの座談会のテーマ

委員の意見のポイント

第1回

町田市の現状／文化芸術によるまちづくりにおけるホールの役割

- ・ホールの方角性について
- ・利用者ターゲット／市外からの集客について
- ・駅からのアクセスについて
- ・まちの価値の向上／住民獲得について
- ・運営財源／まちへの経済効果について

第2回

文化芸術ホールとまちづくり

- ・シンボルとしてのホール／町田らしさについて
- ・市外からの集客について
- ・まちづくりにおける位置づけについて

第3回

町田市における文化芸術論

- ・まちの価値の向上／町田らしさについて
- ・市民活動支援／町田らしさについて

第4回

ホール経営論

- ・市外からの集客について
- ・まちへの経済還元について
- ・市民活動支援について

文化芸術によるまちづくりのポイント

文化芸術ホールの観点から

- ・新たにホールをつくる目的
- ・戦略的かつ効果的な経営手法
- ・今ある文化資源の活用

まちづくりの観点から

- ・都市経営に対する寄与
- ・まちのシンボルとしてのホール
- ・地域経済・産業への波及

●主な議題「文化芸術によるまちづくりのポイント」「基本構想にむけて」

座談会の後半では事務局より、文化芸術によるまちづくりのポイントと基本構想に向けて、それぞれ資料をもとに説明がなされました。

来年度にホールの基本構想を策定するにあたっては、これから先の町田市の将来像がどのような描かれるかという話を前に、現実的に何ができ

るかを考えていくことになるという意見が示されました。また、町田市の強みを活かして、町田に求められる文化芸術ホールの在り方を検討していく必要があるという意見が示されました。

●5回の座談会を通した各委員の感想

最後に、各委員よりこれまでの座談会を通した感想が述べられました。

伊藤委員からは「にぎわいが創出されるということが、一番色々なことへの影響があると思う。将来どんな人たちがどんな風に集まってきて、どんな行動が起こるのかということ想像し、そのためにこんな施設が必要だという中身を検討してほしい。そして、つくって終わりではなく

て、どこまでどう利用することができるとかということも、合わせて検討してほしい。」と感想が述べられました。



片山泰輔副座長

片山委員からは「ホールをつくることではなくて、それを使ってどういう政策を展開していくのかという長期的な展望が一番重要だと思う。文化芸術施設を使ってどういうまちづくりをしていきたいのかを、ビジョンを持ってブレずに検討を進めてほしい。」と感想が述べられました。



西茂弘委員

西委員からは「何のた

めにつくるのか、誰のためにつくるのか。町田市の様々な条件面を考え、ホールをつくることがいかにどうかという点から考えを整理してほしい。市民団体のためのものなのか、多くの人を町田に呼び込んで経済を活性化するためのものなのかをはっきりし、市民の方から愛され、つくってよかったなど思われる、ハードもソフトも両方そろったホールを検討してほしい。」と感想が述べられました。



美山良夫委員

美山委員からは「文化と芸術の違いについても整理してほしい。これらは異なる領域ではなく、芸術活動は文化活動に含まれているものである。創造的な活動で、地域や時代に与える作用や大事さをもっている。こういう点を意識してホール建設の基本構想の策定にあ

たってほしい。」と感想が述べられました。



市川宏雄座長

市川座長からは「町田市には町田が好きだという人が多いと感じている。この点をどのように活かすか重要である。」と感想が述べられました。

最後に石阪市長より「ホールはまちをつくりかえるエネルギーになるという確信を持っている。商業面や再開発、施設の老朽化対策ではなくまちの新たな顔となるエネルギーのひとつとして文化芸術ホール捉えて、来年度に基本構想を策定していきたい。今年1年間、中身の濃い議論を行うことで状況を整理することができた。委員の皆様には厚くお礼を申し上げたい。」という挨拶をもって「文化芸術によるまちづくり座談会」が締めくくられました。